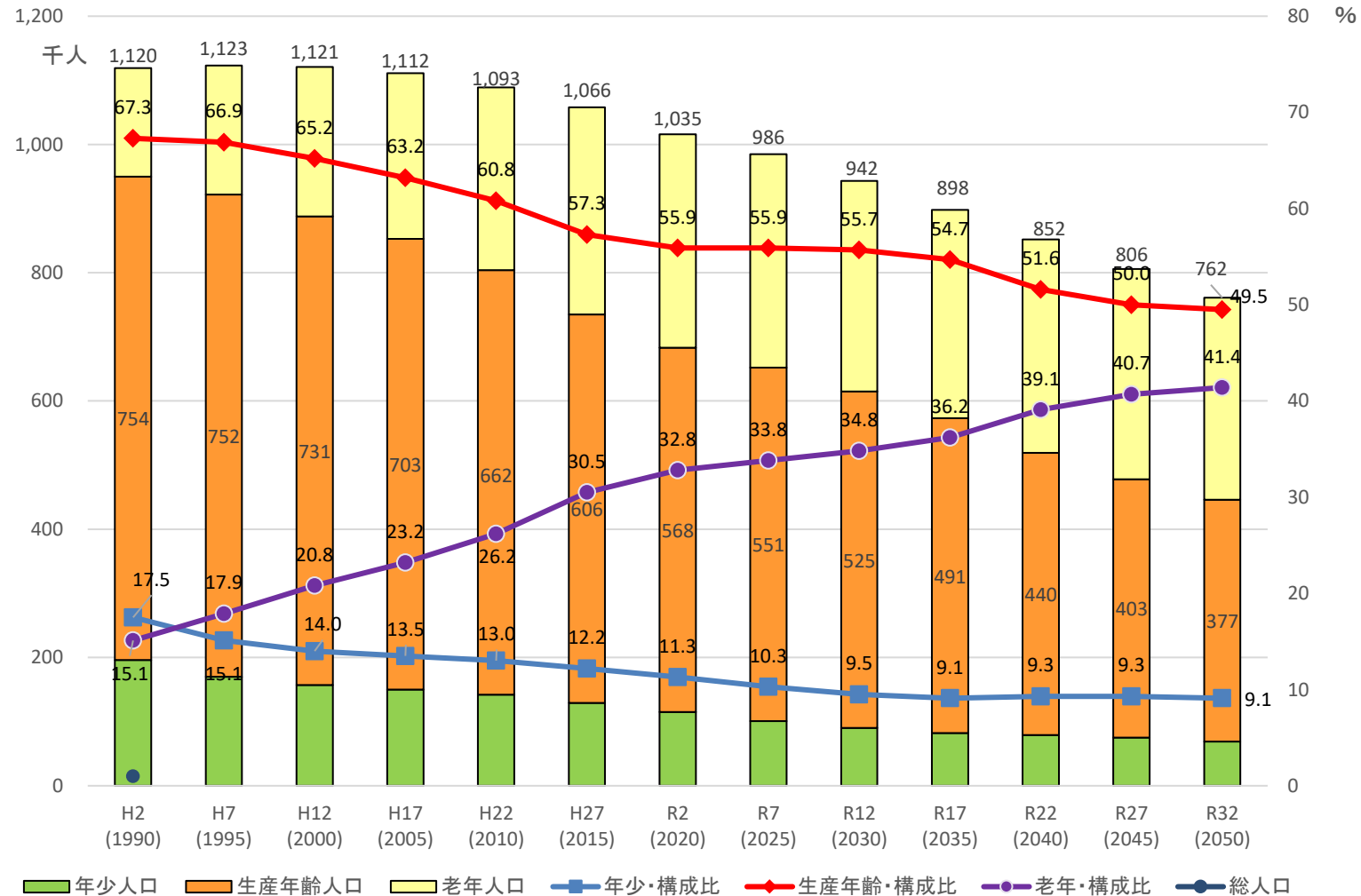


国や県における職業能力開発に係る現状 及びニーズ調査の結果（骨子関連部分）

令和 7 年12月19日

人口減少・少子高齢化が進行し、生産年齢人口が減少

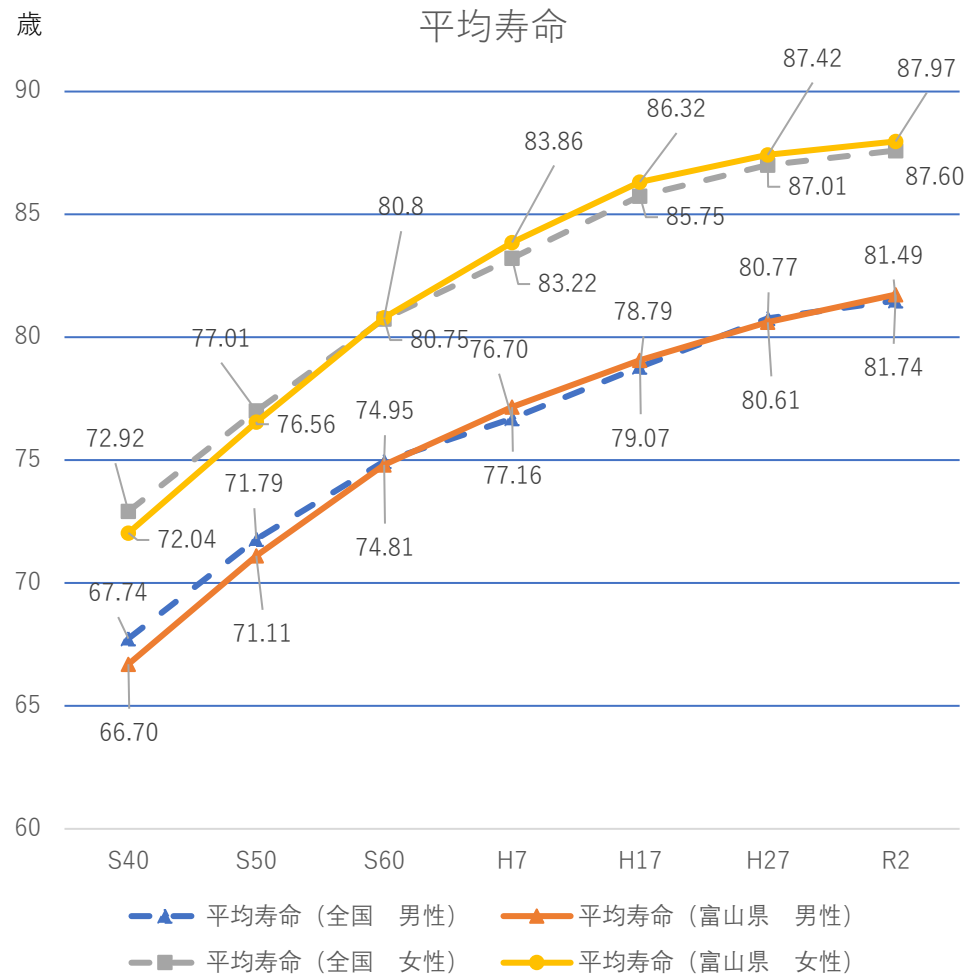
富山県の人口の推移及び将来推計人口



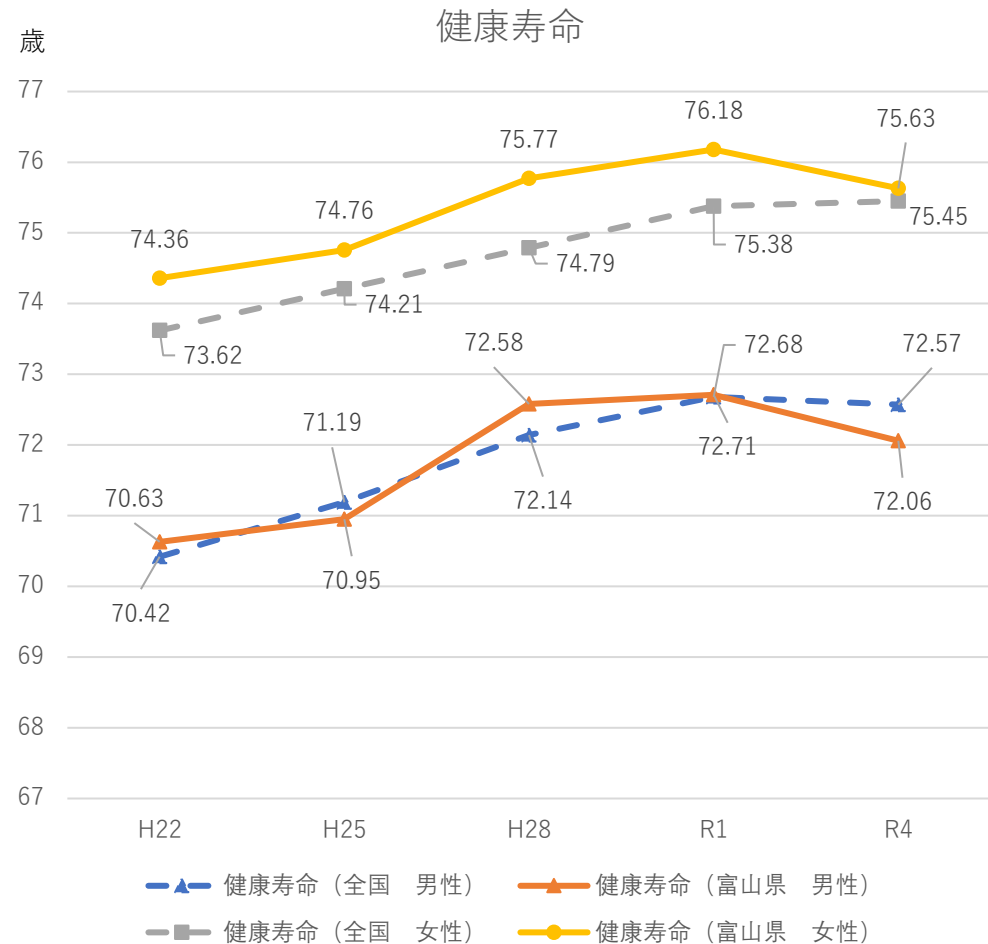
(出典) H2～R2:総務省統計局「国勢調査」、R7～R32:「国立社会保障・人口問題研究所(R5年推計)「日本の地域別将来推計人口」を元に作成

職業人生の長期化

富山県の平均寿命と健康寿命 男性（左） 女性（右）



（出典）厚生労働省 都道府県別生命表のデータを基に作成

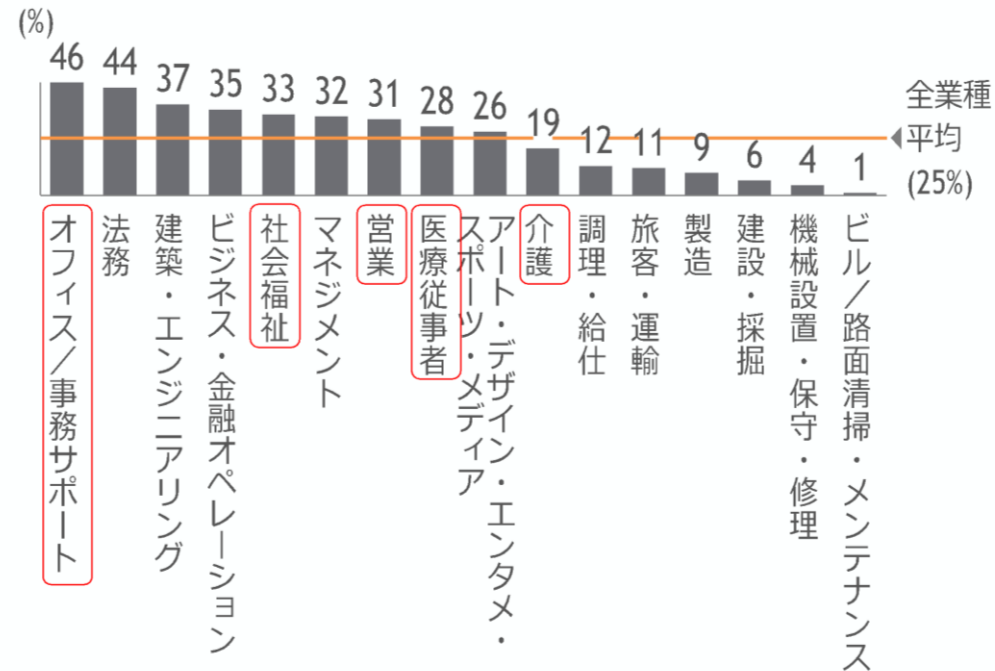


（出典）厚生労働科学研究 健康寿命のページ研究報告書「都道府県別健康寿命」のデータを基に作成

AIの活用

人口減少による構造的な人手不足に直面する中、今後も生活の水準を維持し、生産性や産業競争力を向上させるためには、生成AI＋ロボットなどのデジタル技術の活用を、あらゆる産業で進めていくことが必要。

AIによって効率化される可能性がある職種

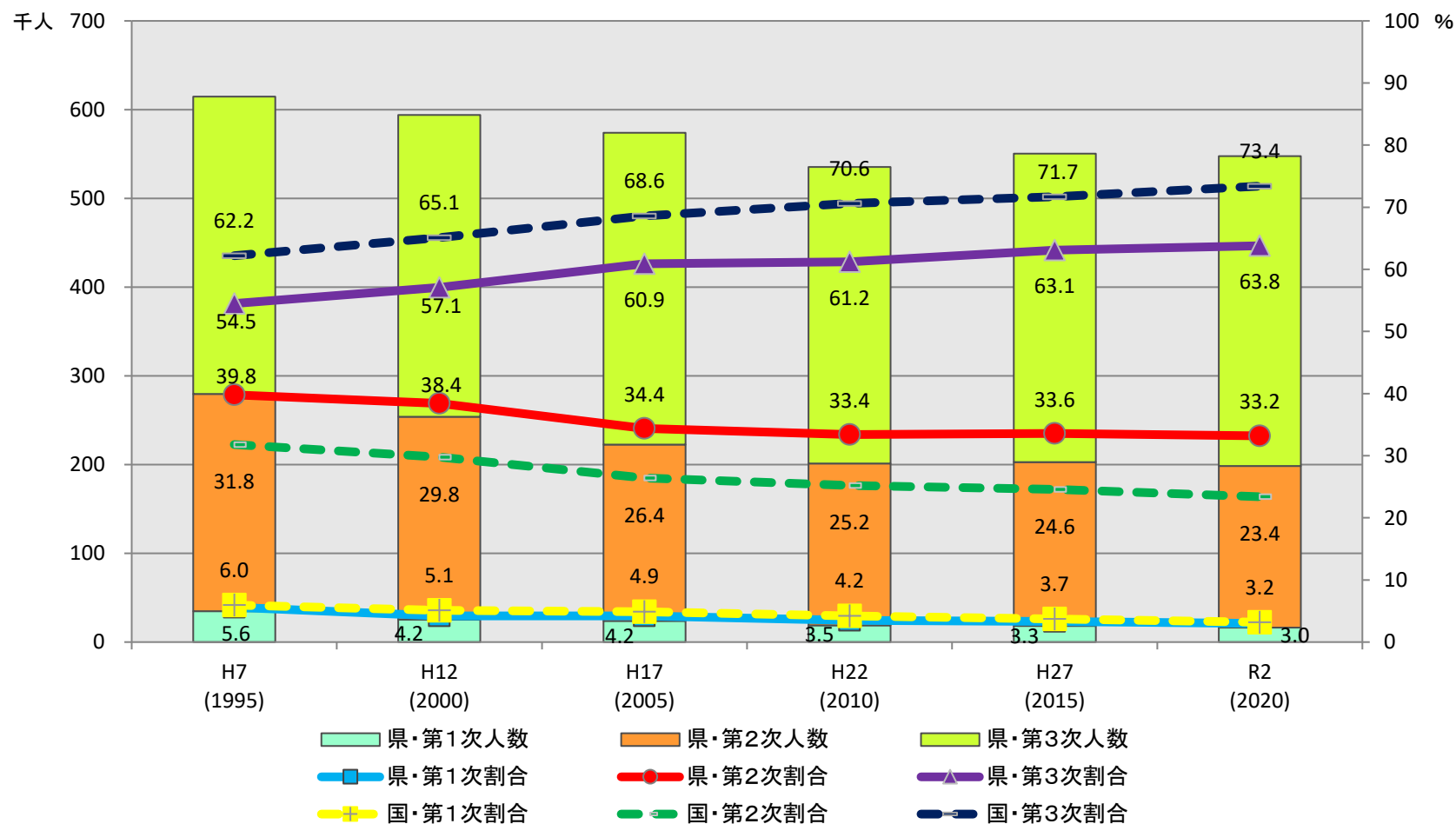


出所：Goldman Sachsレポートより一部抜粋

出典：第24回 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会（R6.10）資料4「デジタル社会の実現に向けて」より抜粋

全国に比べ第2次産業就業者の割合が高いが、第3次産業就業者数の割合が高まりつつある

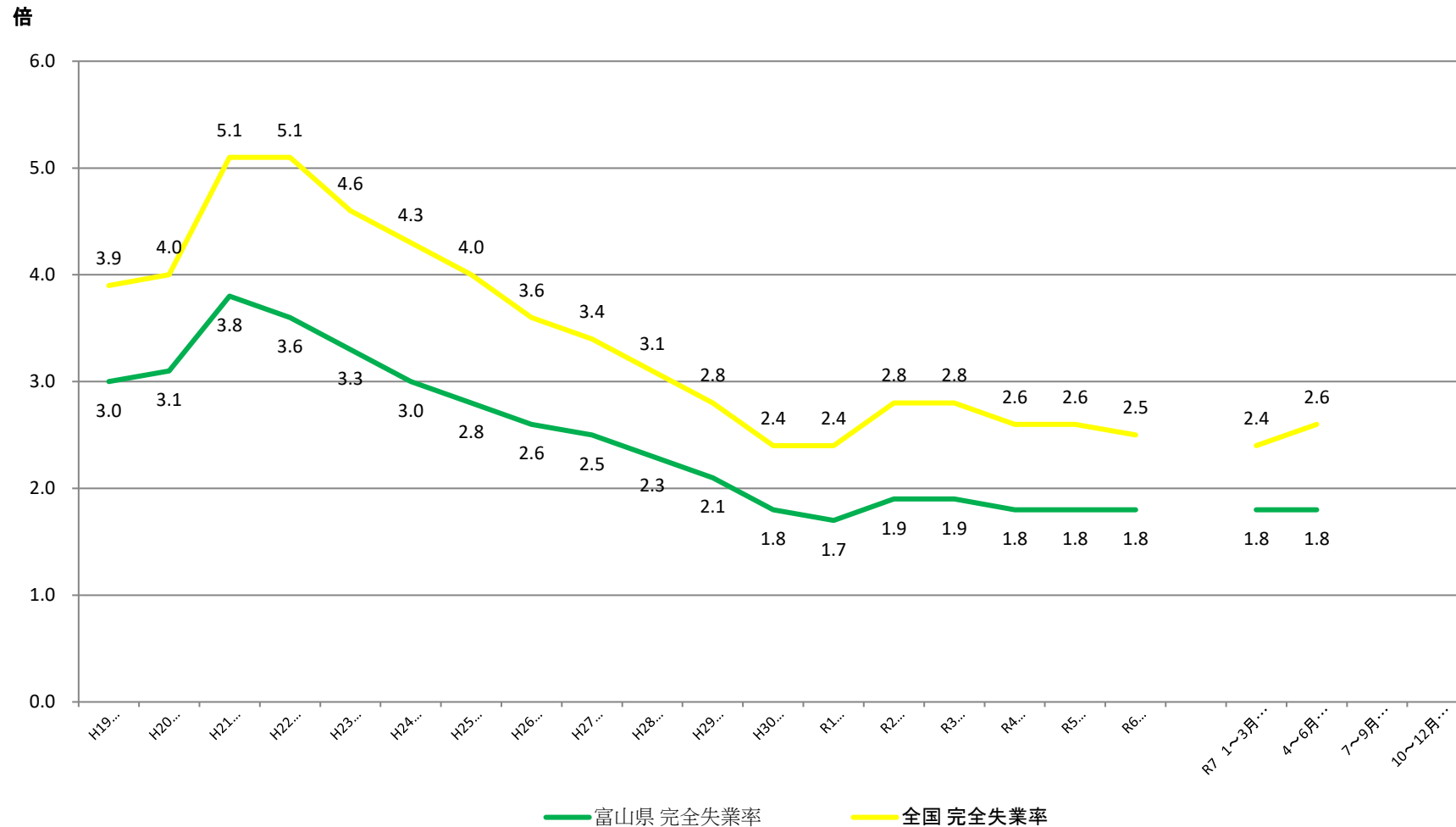
富山県の産業別就業者及びその割合の推移



(出典) 国勢調査を基に作成

完全失業率は、令和2年以降は概ね横ばいで推移

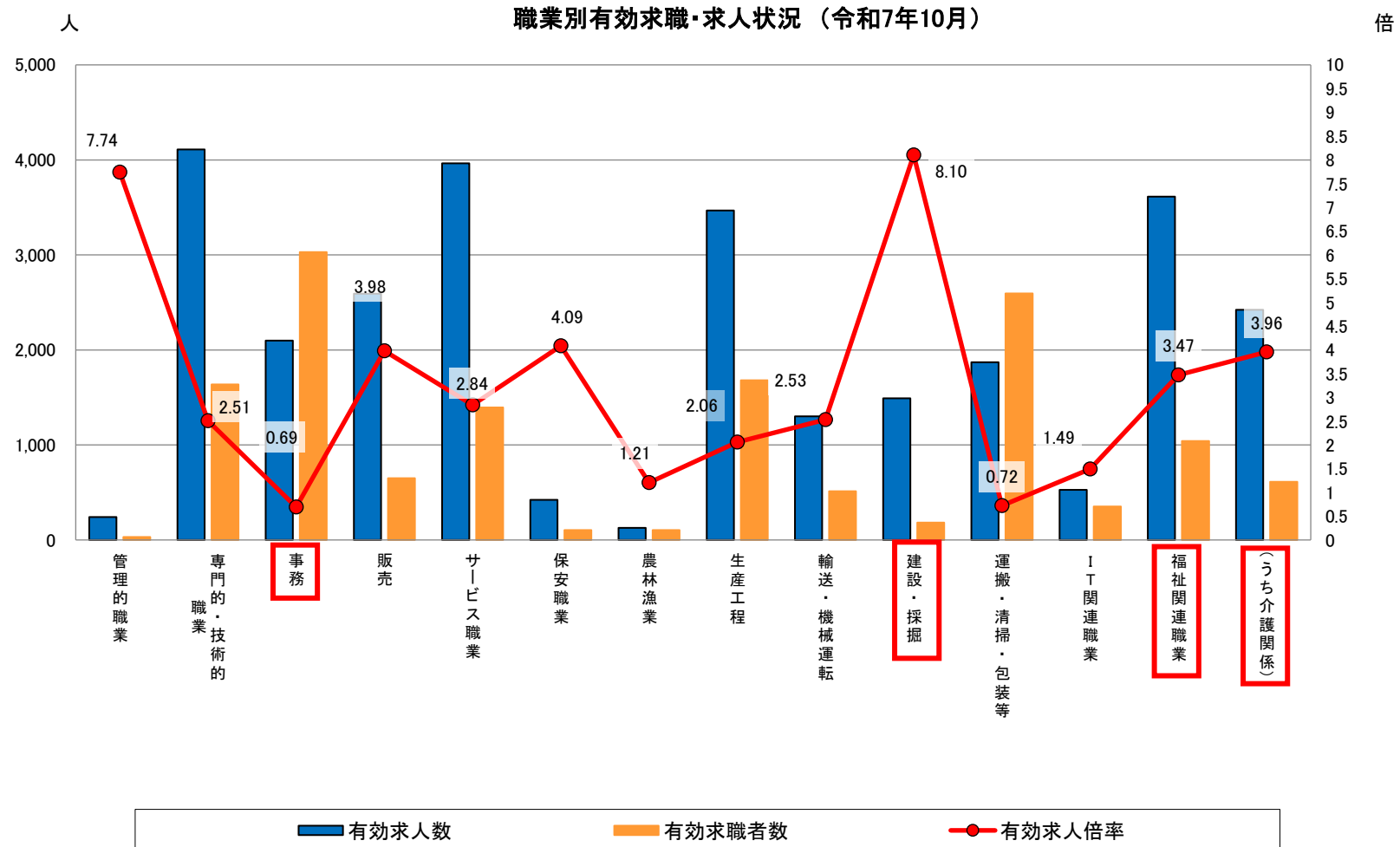
富山県・全国の完全失業率の推移（四半期平均）



（出典）総務省統計局：「労働力調査（基本集計）都道府県別結果」（四半期平均）を元に作成

求人・求職のミスマッチ（職業別で有効求職・求人状況に差）

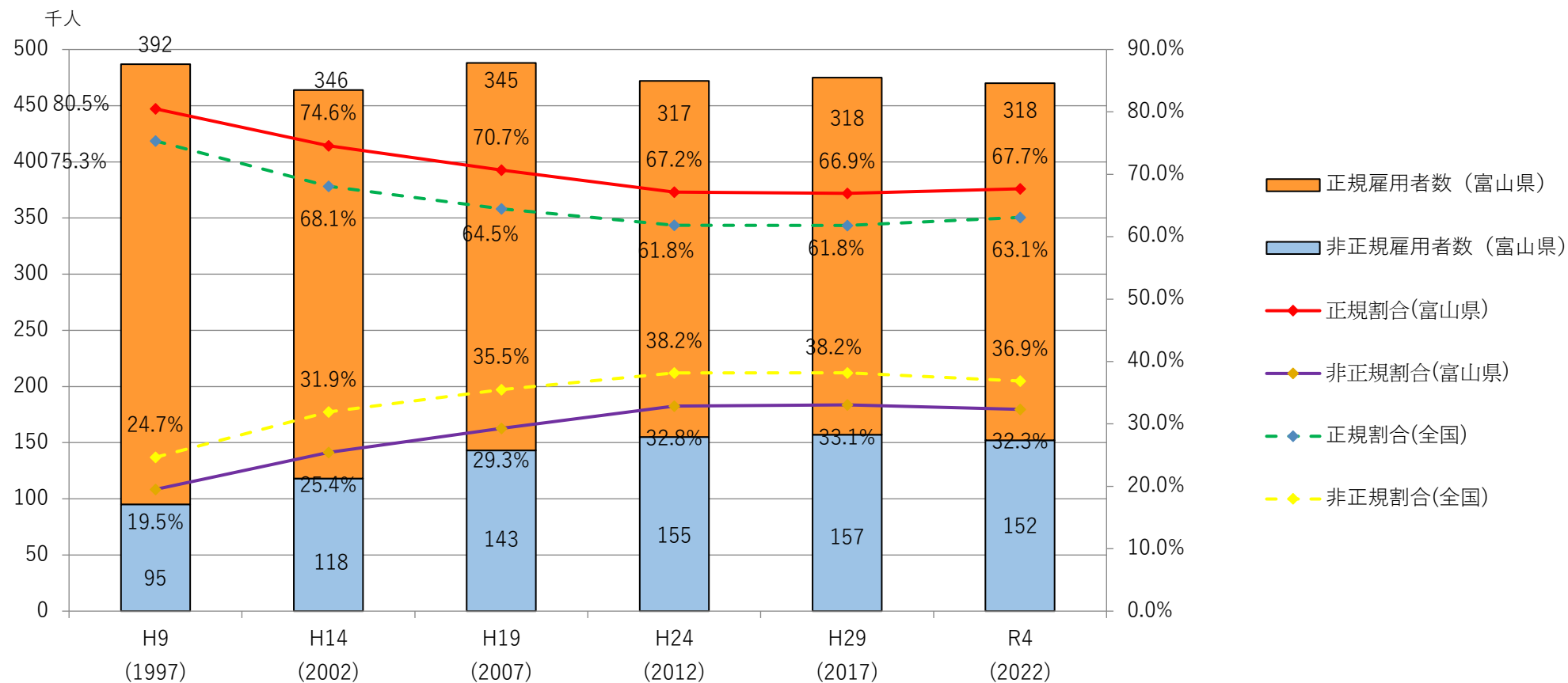
富山県の職業別有効求職・求人状況（令和7年10月）



（出典）富山労働局「富山県の雇用情勢」を基に作成

非正規雇用労働者の割合は全国より低いが、横ばいで推移

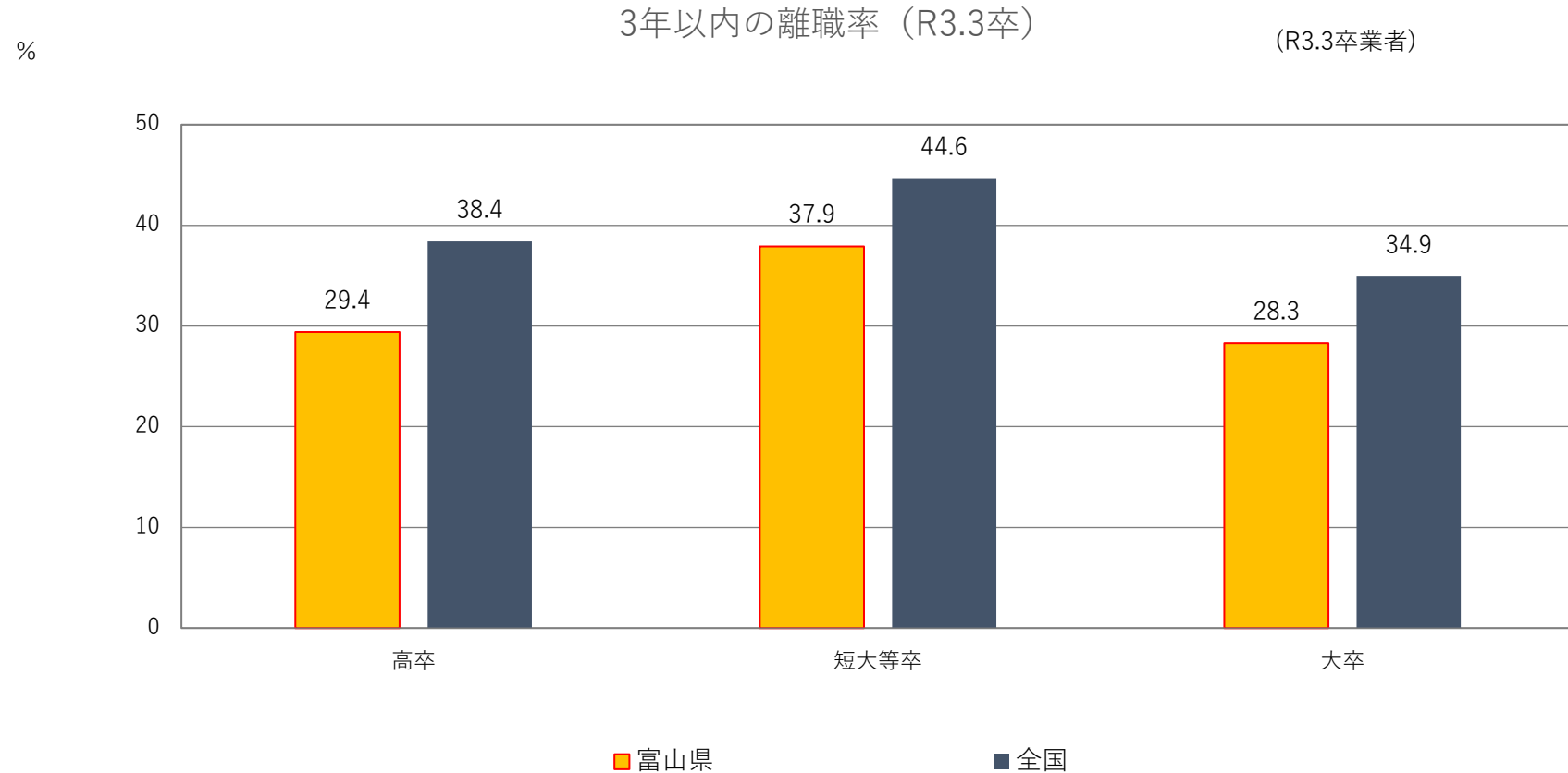
富山県・全国の非正規雇用者の推移



(出典)「就業構造基本調査」(総務省)を基に作成

(若者の職場定着) 県内の卒業後3年以内の離職率は約3割

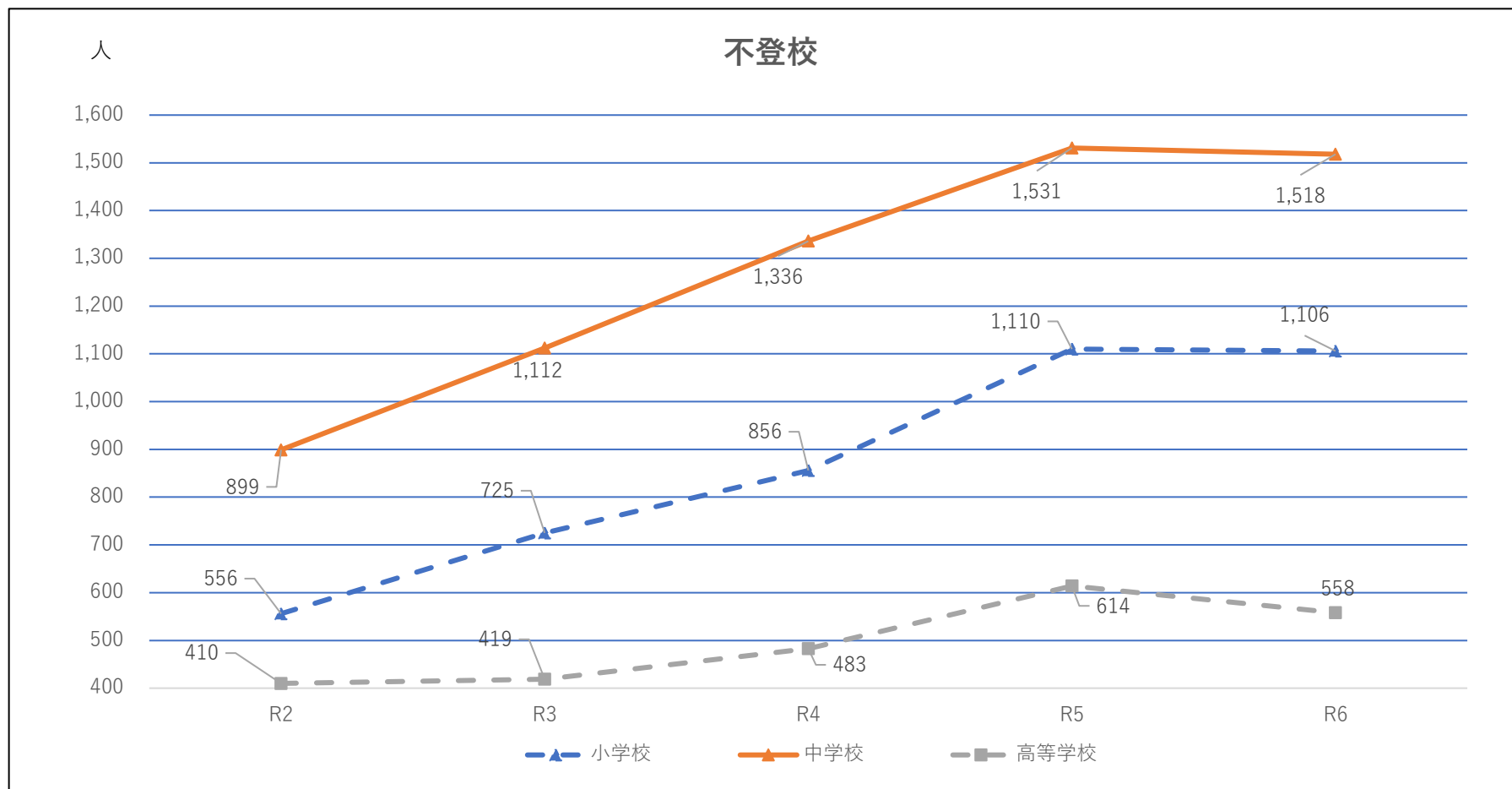
富山県・全国の3年以内離職率（大卒、短大等卒、高卒）（R3.3卒）



(出典)厚生労働省調査を元に作成

富山県の不登校生徒数は増加傾向

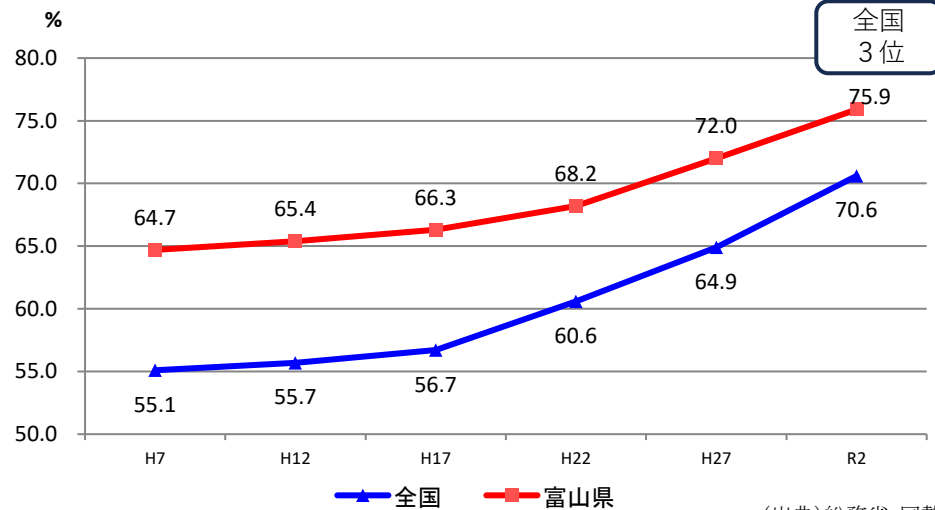
不登校の生徒数（年間30日以上「不登校」という理由で長期欠席した人数）



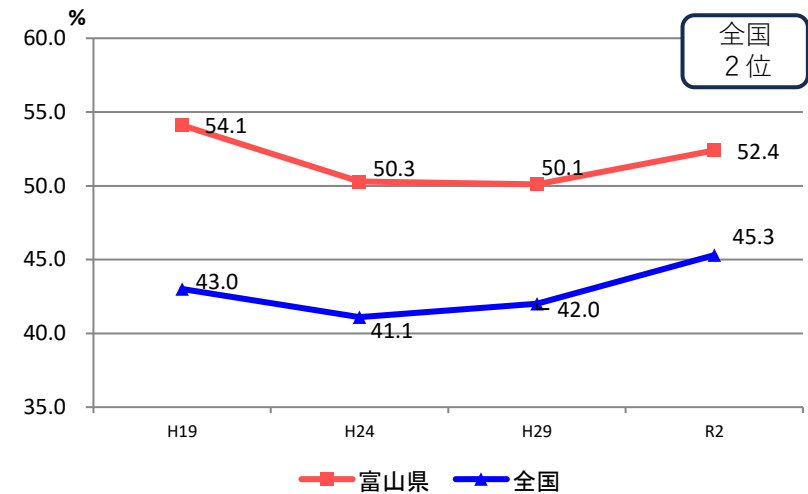
(出典) 文部科学省
「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を元に作成

女性就業率、女性労働者の平均勤続年数、 女性雇用者に占める正社員の割合は全国トップレベル

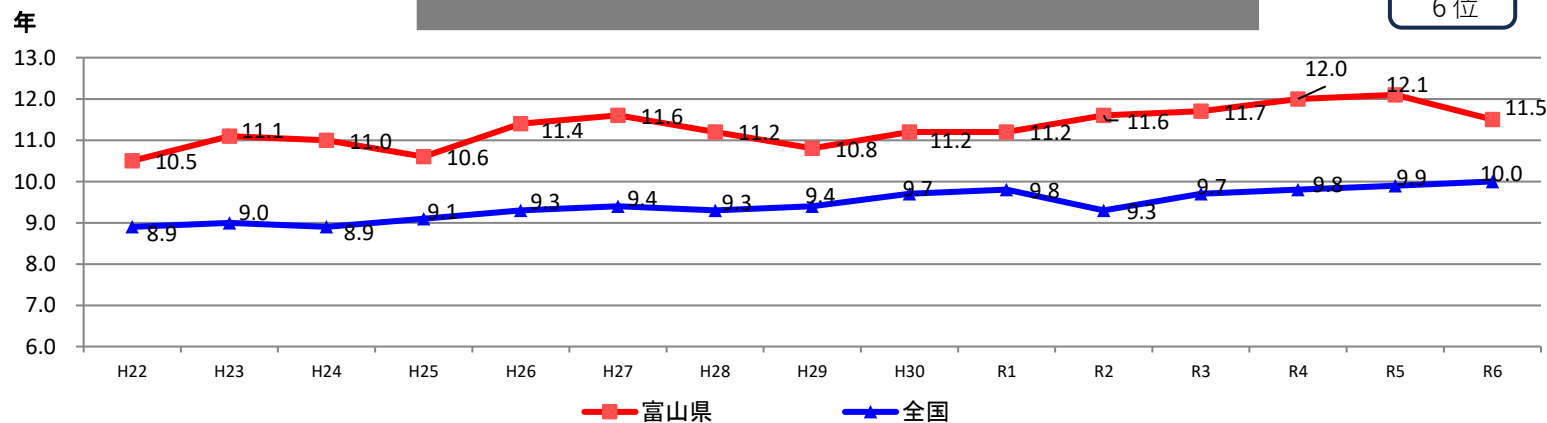
富山県・全国の女性就業率



富山県・全国の女性雇用者に占める正社員の割合

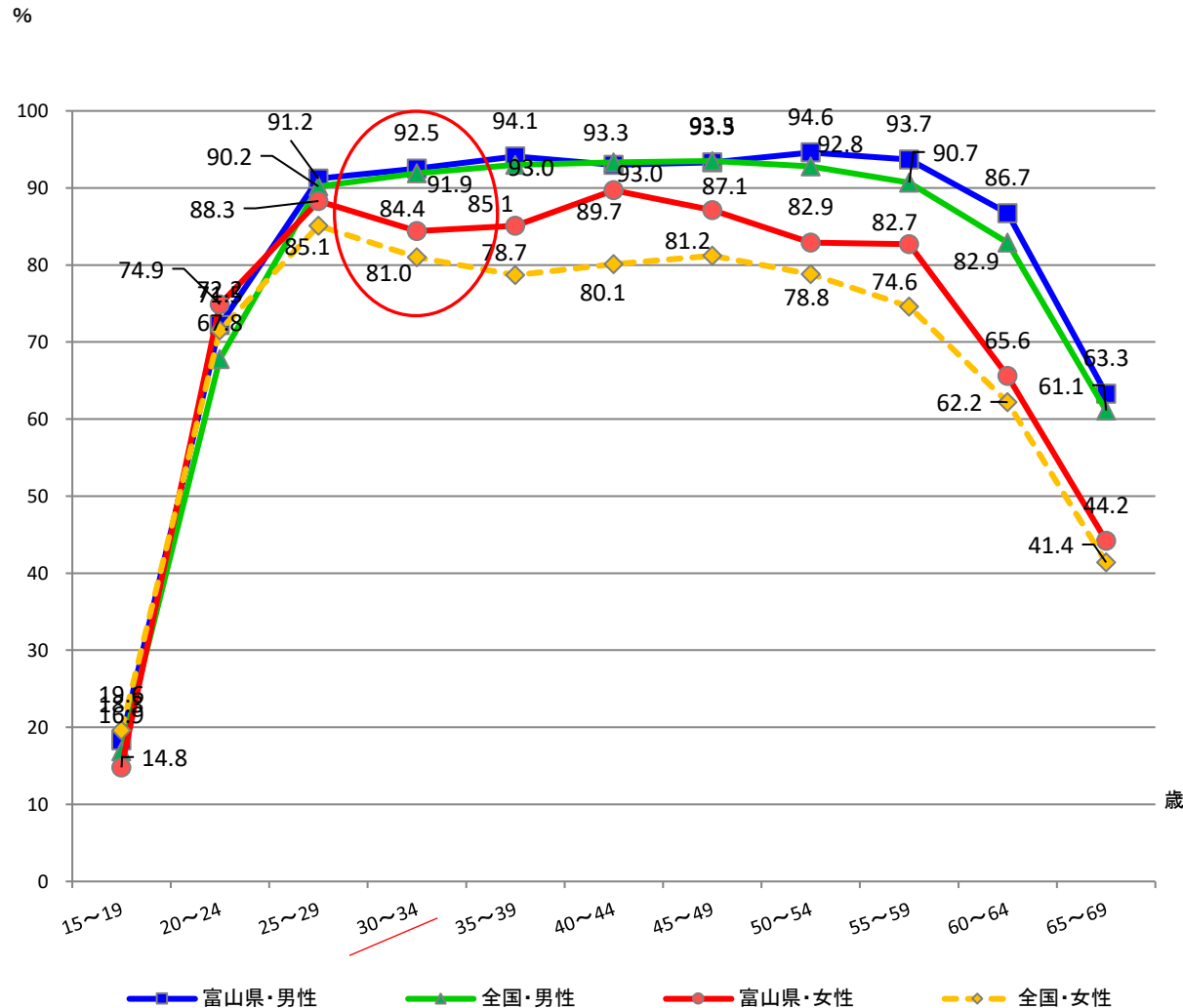


富山県・全国の女性労働者の平均勤続年数



出産育児のため就労を中断する傾向 本県は「30～34歳」がM字カーブのボトム

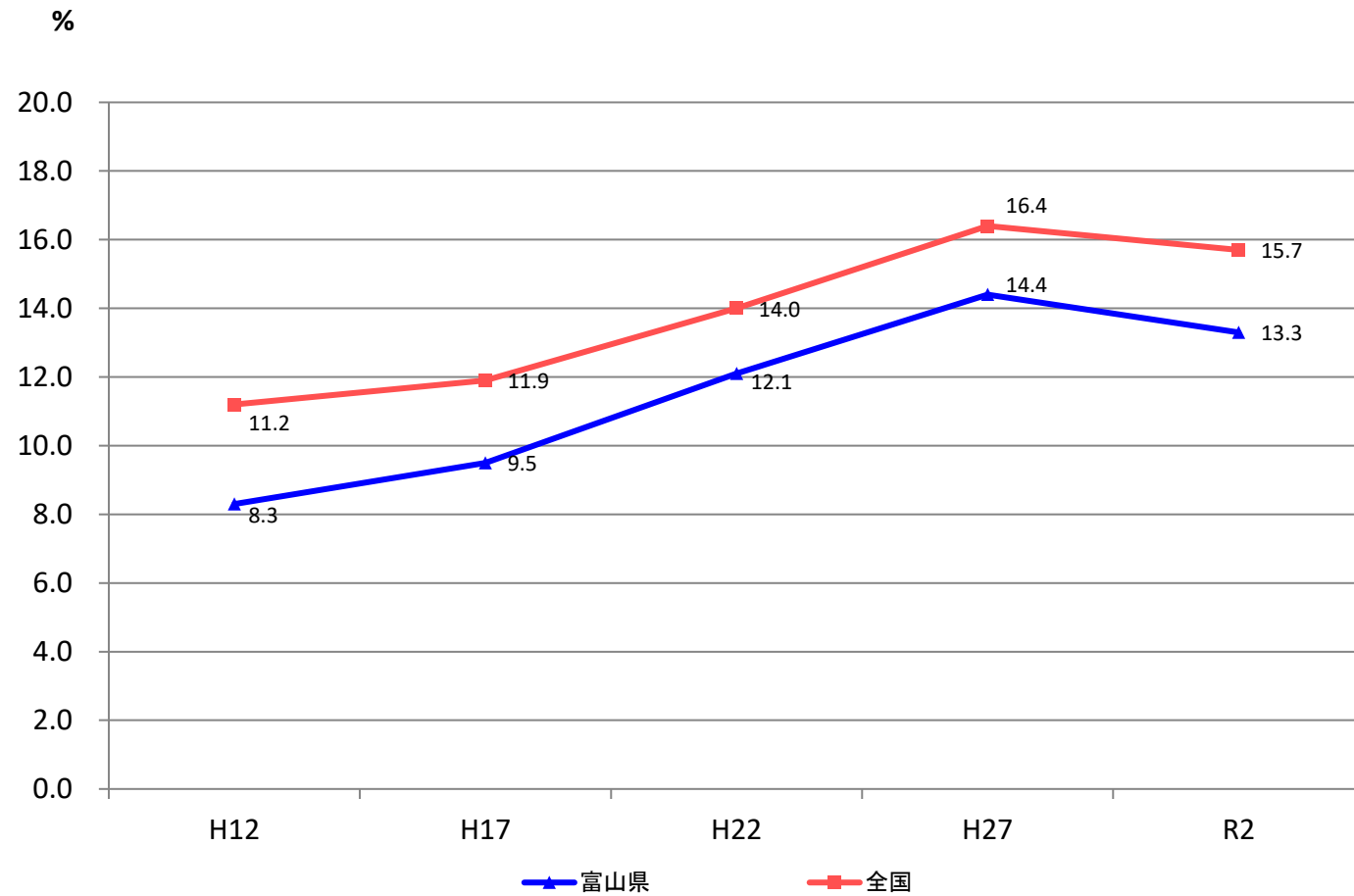
富山県・全国の男女、年齢階級別有業率（令和4年）



（出典）富山県統計調査課：「令和4年就業構造基本調査結果（富山県分）」
（総務省：「令和4年就業構造基本調査」）

女性管理職比率は全国平均を下回る

富山県・全国の女性の管理職割合（役員等含む）

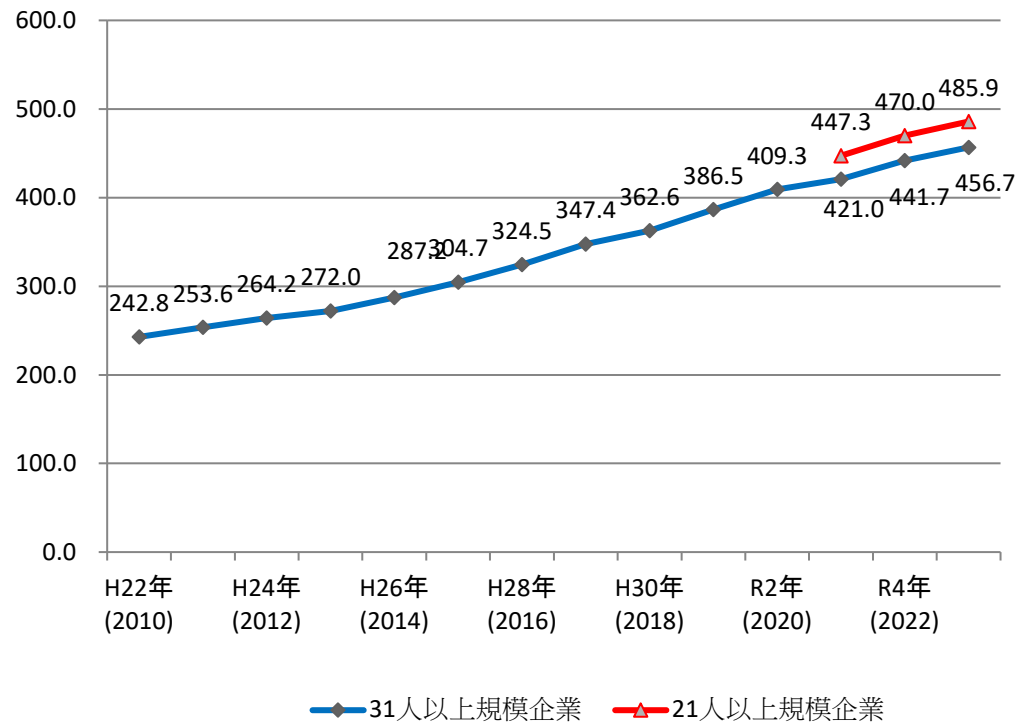


(出典)総務省:国勢調査

高齢者の就労は増加傾向

全国の60歳以上の常用労働者の推移

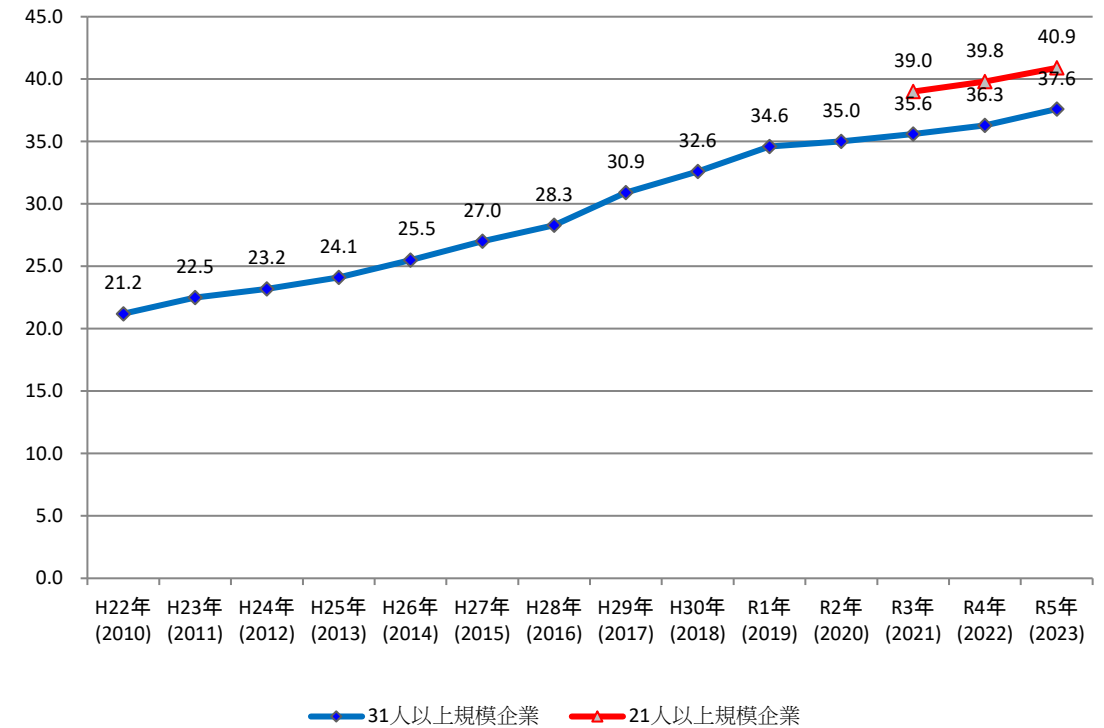
万人



(出典) 令和5年「高齢者の雇用状況」(厚生労働省)を基に作成

富山県の60歳以上の常用労働者の推移

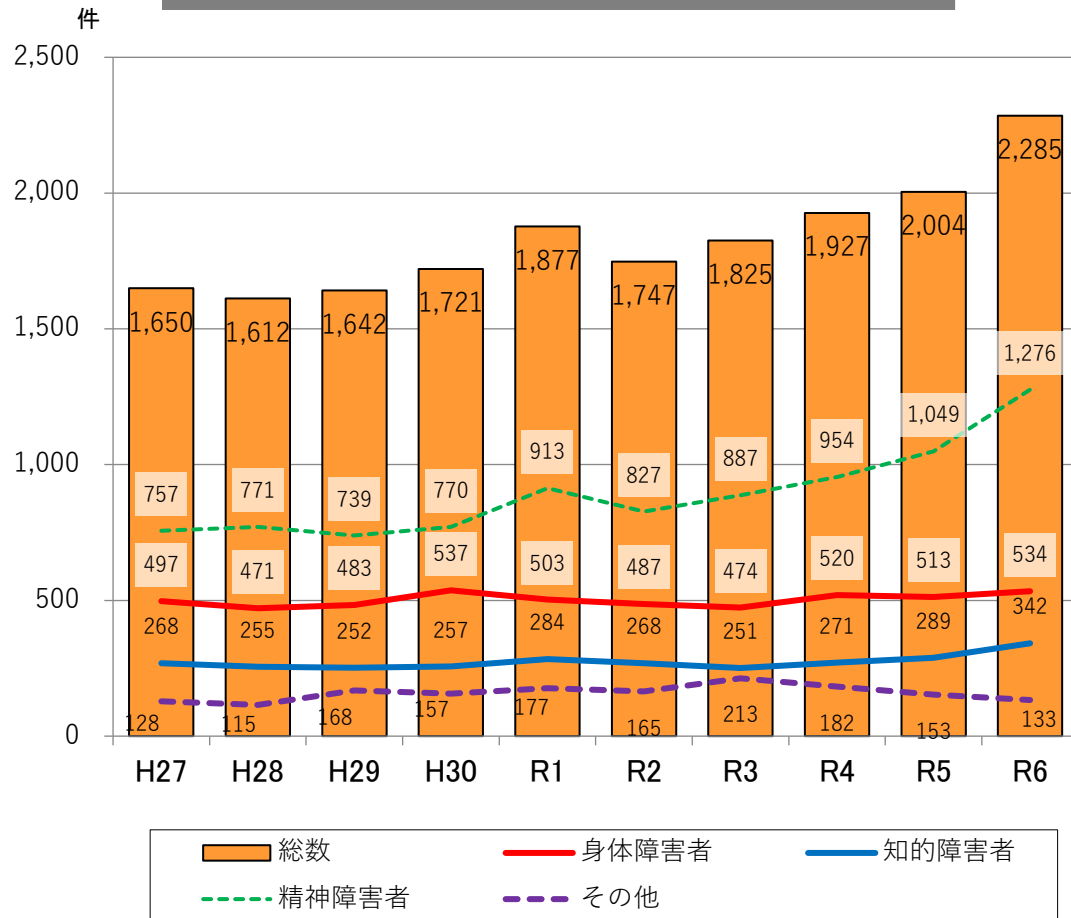
千人



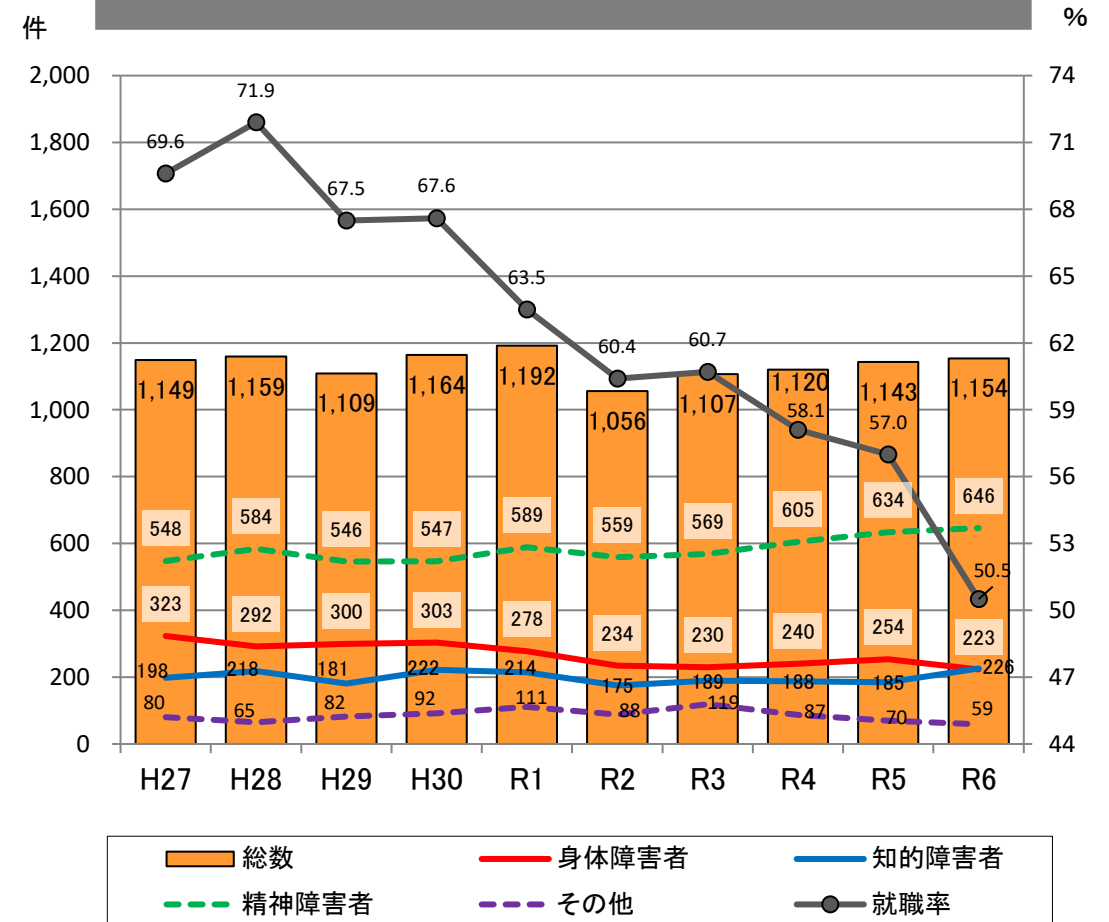
(出典) 令和5年「高齢者の雇用状況」(富山労働局)を基に作成

障害者の求職は増加傾向、就職率は減少傾向

富山県の障害者の新規求職申込件数



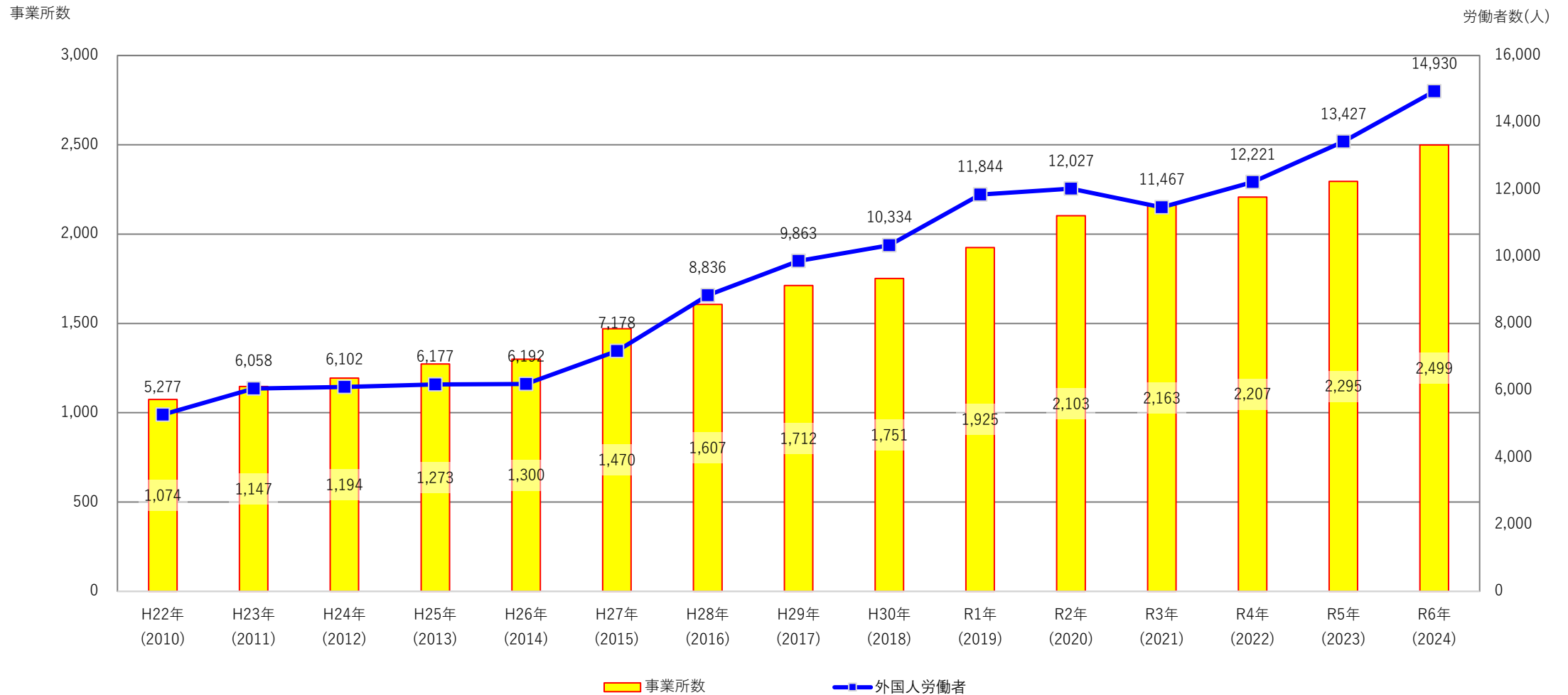
富山県の障害者の就職件数と就職率の状況



(出典) 富山労働局プレスリリースを基に作成

外国人労働者は年々増加

富山県の外国人雇用事業所数・外国人労働者数の推移



(出典)富山労働局プレスリリースを基に作成

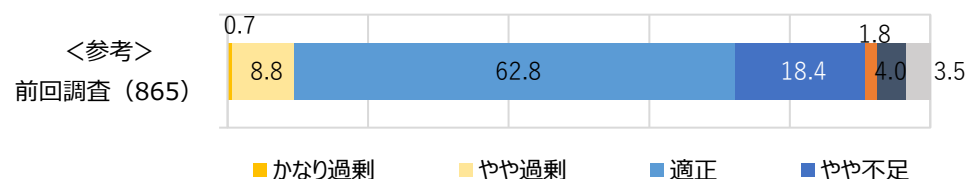
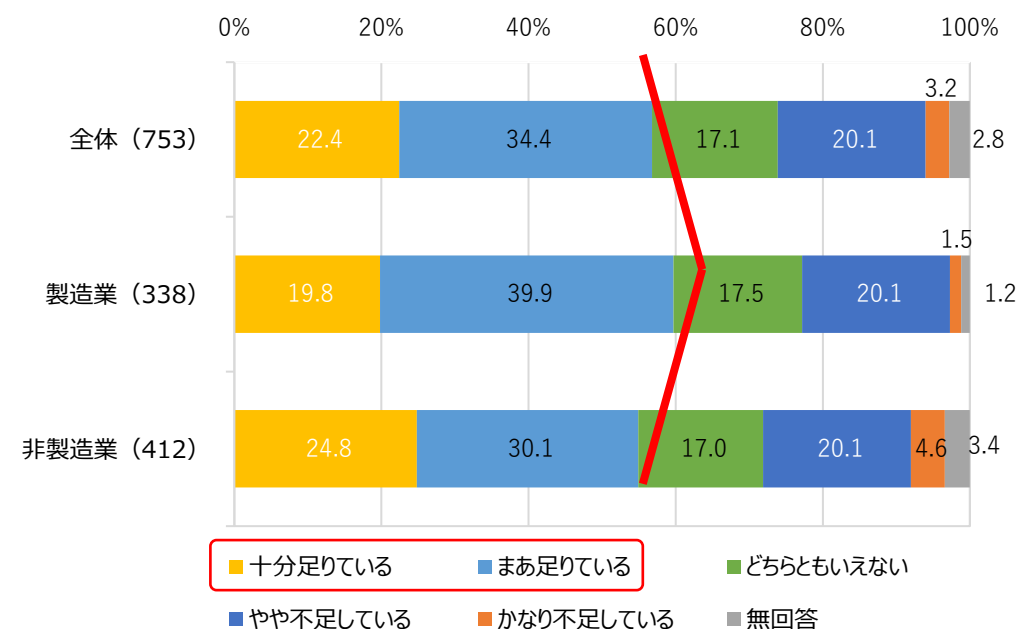
ニーズ調査の結果（骨子関連部分）

（P18～23）

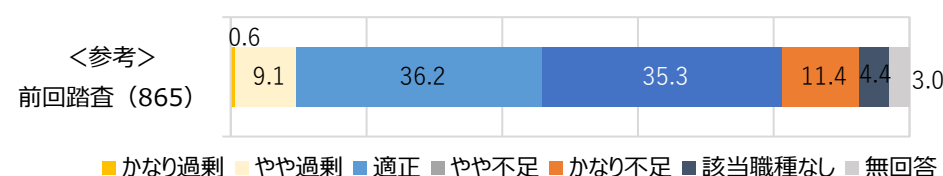
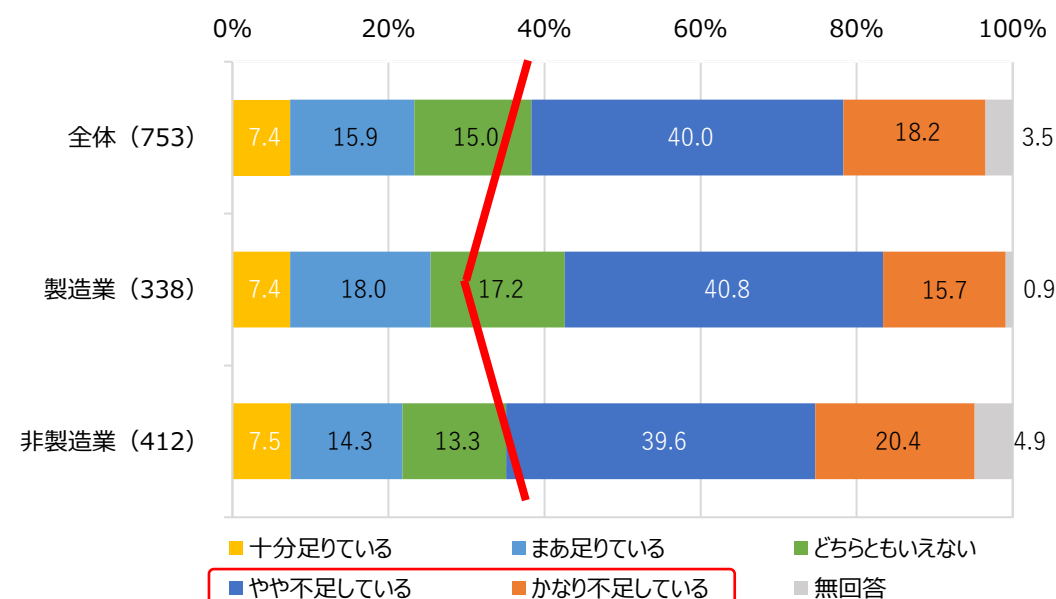
- ・ 県内事業所の**事務・営業系**の人材については、**充足感**が不足感に対し33.5%高い。
- ・ 県内事業所の**技術・技能系**の人材については、**不足感**が充足感に対し34.9%高い。

※「人材の充足感」は「十分足りている」、「まあ足りている」の合計「人材の不足感」は「やや不足している」、「かなり不足している」の合計

■ 人材の過不足感【**事務・営業系**】

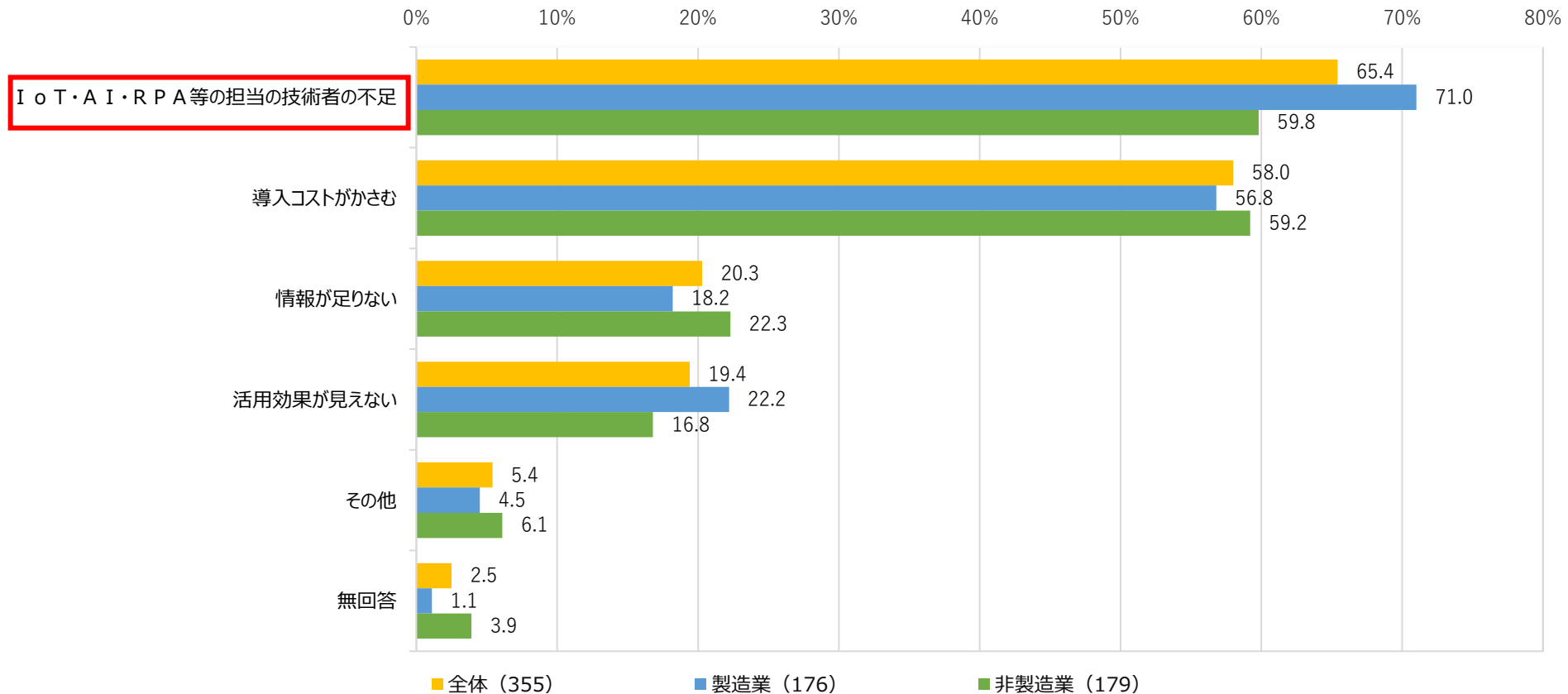


■ 人材の過不足感【**技術・技能職**】



(DX) IoT・AI・RPA等の導入の取り組みで最も大きな課題は「IoT・AI・RPA等の担当の技術者がいない」が最も高い

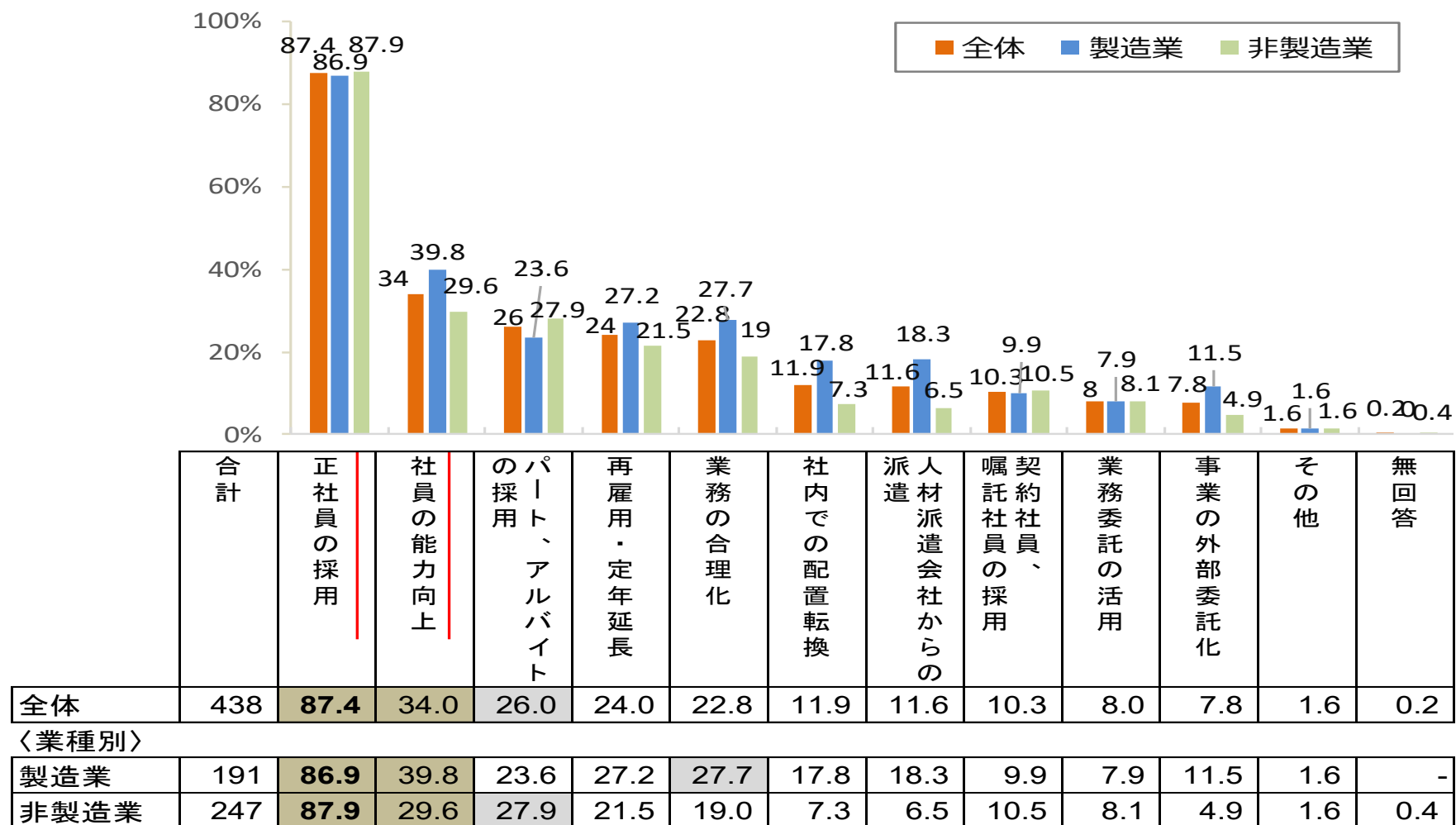
DXの推進状況（IoT・AI・RPA等の導入の取り組みで最も大きな課題）



(出典) 令和6年度職業能力開発ニーズ調査

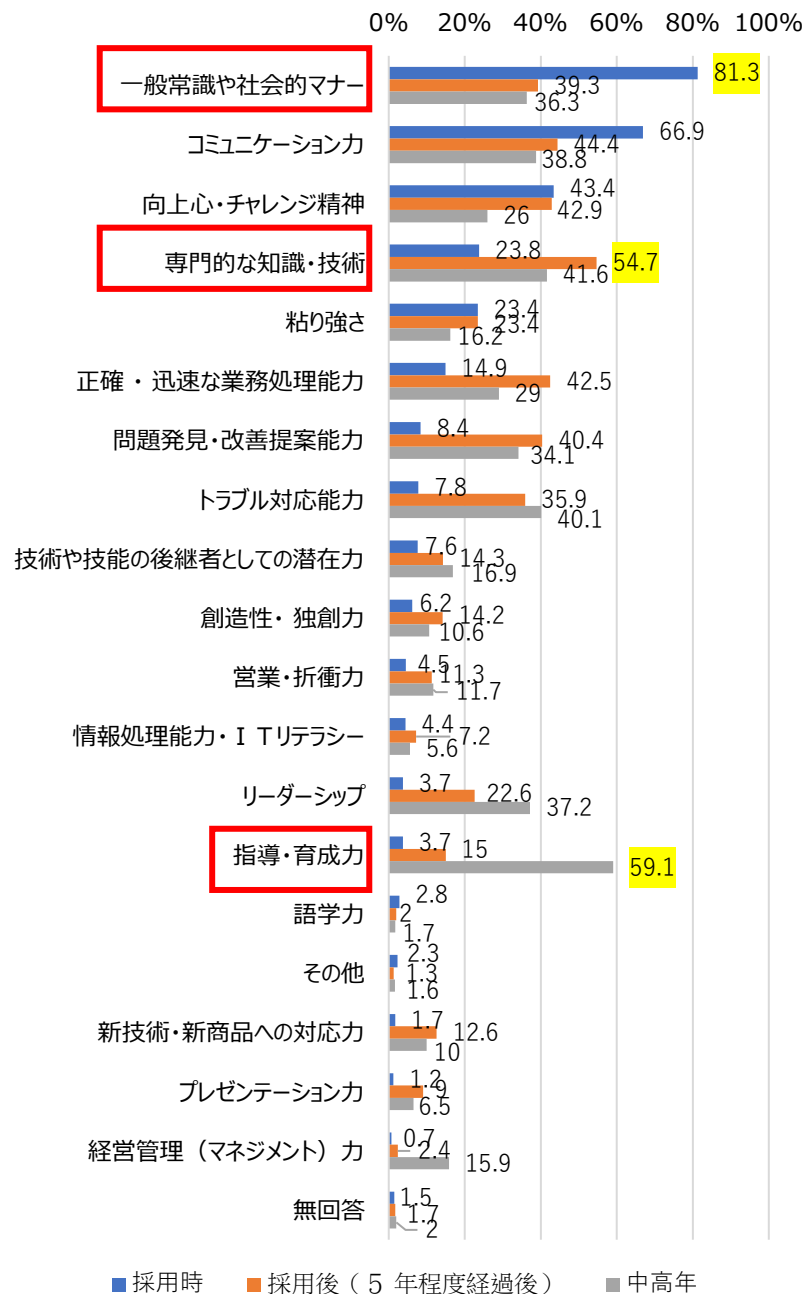
人手不足には「正社員の採用」や「社員の能力向上」等に対応

人材不足への対応における事業所の考え【技術・技能系】



(出典) 令和6年度職業能力開発ニーズ調査

■従業員に求める能力



N=753

従業員に求める能力

採用時に求める能力は、社会人としての基礎的な資質・能力

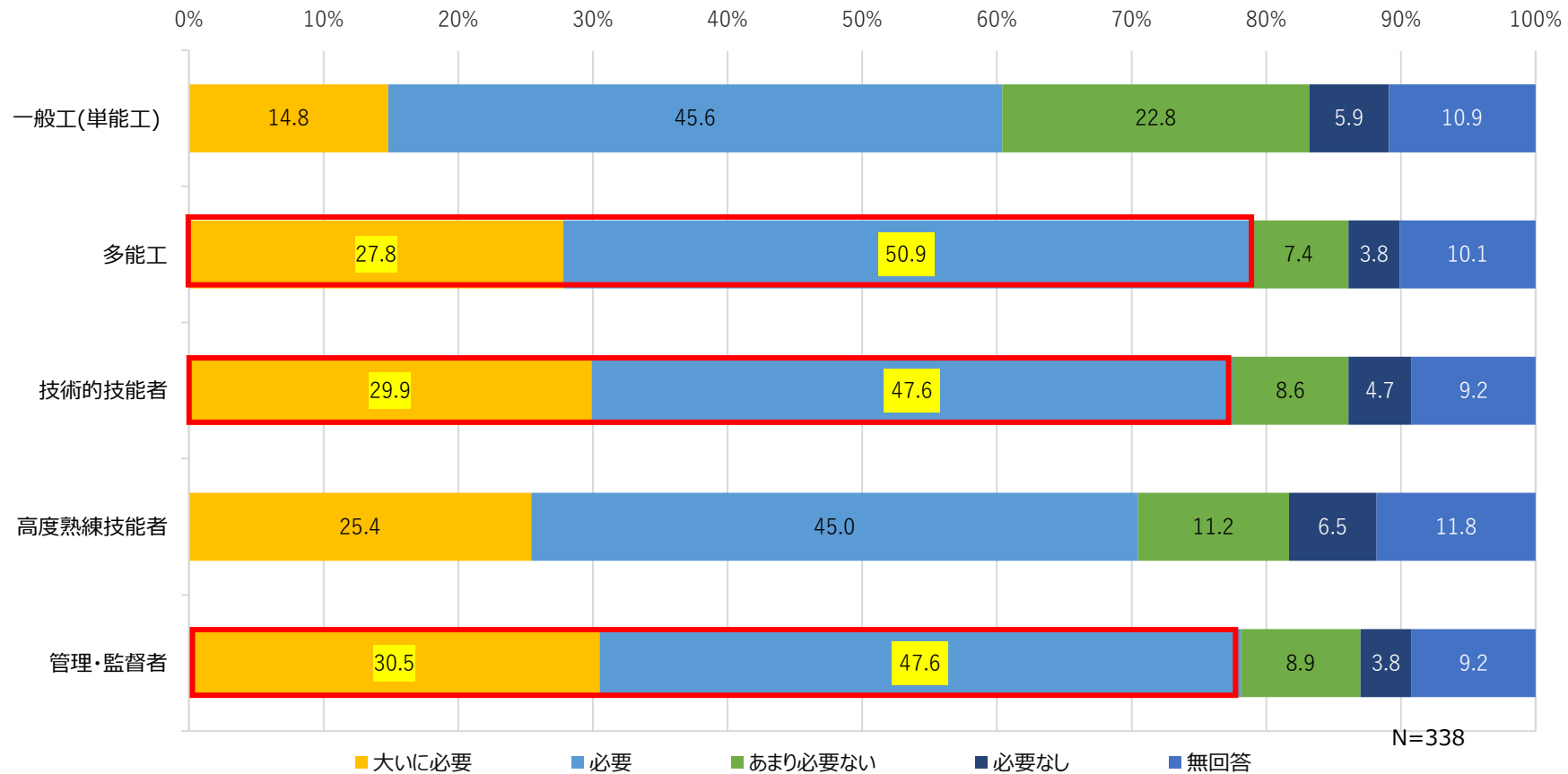
採用5年経過後に求める能力は、専門的な知識・技術

採用後の中高年に求める能力は、指導・育成力

(出典) 令和6年度職業能力開発ニーズ調査

多能工、技術的技能者、管理・監督者に対するニーズが高い (製造業)

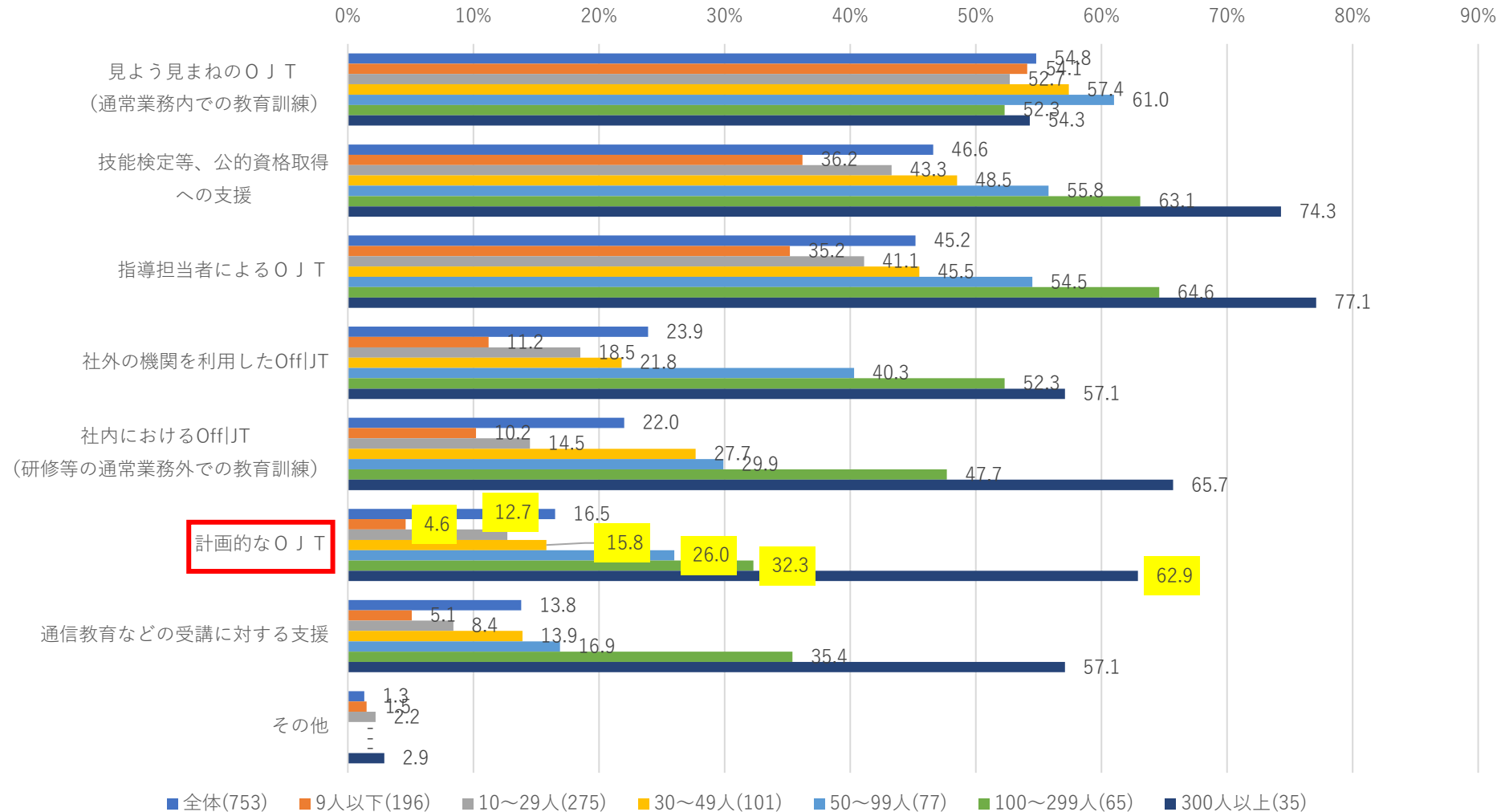
技能系正社員の今後の必要性・重要性 (製造業)



(出典) 令和6年度職業能力開発ニーズ調査

「計画的なOJT」は事業所規模が小さいほど実施率が低い

従業員に実施している教育訓練（会社規模別）



公
共
職
業
訓
練

技術専門学院

学卒者


長期訓練(2年間) 自動車整備科、機械・制御エンジニア科、電子情報/IoT科(定員:120名 各科20人×3科×2年)

- 就職率
100%



離職者

短期訓練(2ヶ月～1年間) 金属加工、環境エネルギー設備、住宅リフォーム、木材加工、造園、介護など(定員:360人)

- C A Dクラフト科をリニューアル(R7～)：アルミ、プラスチック等の加工技術の訓練の実施
 - 総合建築科・建築デザイン科をリニューアル(R6～)：木造建築物を活用した総合的な実習等の実施
 - ビルメンテナンス科・住宅設備科をリニューアル(R7～)：ビルの保守管理技能等を習得する訓練の実施
 - 「ものづくり女性」育成の推進：ものづくり訓練コースに「女性枠」を設定、託児サービス、一部訓練のオンライン化
- 



在職者

能力開発セミナー(12時間以上) ものづくり技術・技能講習、資格・検定試験の準備講座など

⇒ レディメイド型(170人)とオーダーメイド型(700人)で企業ニーズに対応

- F A 制御、レーザー加工 ○高度技能人材育成講座（機械加工、溶接等）



離職者

民間委託訓練 介護・保育・建設・ITなど（定員：414人）

- 長期高度人材育成コース（28人）：短大等の課程を活用し、資格取得と正社員就職を支援
- 育児等との両立支援コース（1日4時間の短時間訓練）や訓練受講中の託児サービスなどを実施



障害者

障害者訓練 介護・保育・建設・ITなど（定員：47人）

- 知識・技能習得コース（20人）：パソコンの知識・技能や接客接遇マナーを身に付ける
- 実践能力コース：実際の職場での実習を通して作業能力や労働習慣を身に付ける

ものづくり人材育成

技能繼承等

- ◆県内ものづくり企業の生産性を向上させるため、品質・生産性向上のための課題解決方法や人材育成方法等の習得を図る研修を実施

品質・生産性向上のための課題解決事業（現場の管理監督者及びその候補者を対象）

- ◆認定職業訓練を実施する団体等への助成：建築、板金、左官等 長期訓練 9 校 短期訓練 10 校

技能振興
・評価

- ◆技能五輪や若年者ものづくり競技大会等の全国技能競技大会への参加を支援
(令和8年に富山県で第21回若年者ものづくり競技大会(全国大会)の開催)

- ◆技能検定の実施
(特級・1～3級・基礎級等)
- ☆ 高校生(3級)の受検状況(合格者数) R6:144人(109人)
" の合格率(県全体) R6:75.7%(46.8%)



富山県人材確保・活躍推進本部の設置

- ・**県内のエッセンシャルワーク業種（※）を中心とした深刻な人手不足に対応**するため、去る4月に庁内組織「富山県人材確保・活躍推進本部」を設置。

※医療・福祉、教育、運輸、農業、建設、公共交通、公務員等、社会の基盤を支える職種のこと

- ・各業種の現状をきめ細かく把握・分析の上、以下の4本柱を軸に、既存の枠組みにとらわれず、実効性の高い施策を検討。県庁一丸となって、**全国に先駆けた「人材確保・活躍の富山モデル」の創出**を目指して取り組む。

<対策検討の基本フレーム>

人材確保

県内企業への就職促進、多様な人材（女性・高齢者・障害者・外国人等）の活躍促進など

働き方改革

柔軟な働き方の導入、ハラスメント防止対策強化、育児・介護と仕事の両立支援 など

人材育成

職業訓練の充実、リカレント教育の推進、大学・高専との連携強化 など

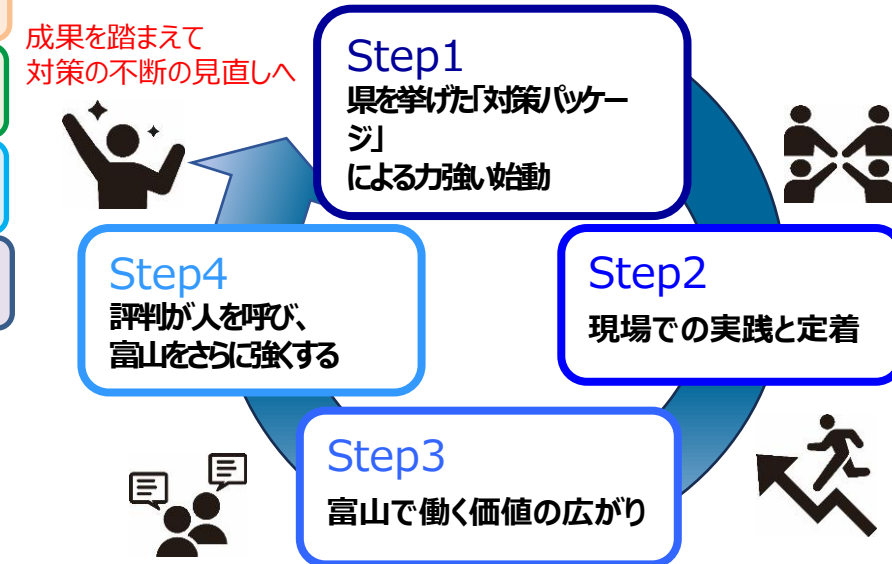
省力化・省人化

生成AI等の先端技術の活用、省人化投資の促進等 など

<スケジュール>

- R7.4～ 第1回本部会議の開催（R7.4.28）以降、複数回開催（「労働供給制約社会」突入の認識共有、各部局からの課題・取組みの方向性等の報告を踏まえた対策の検討など）
- 10月末 『対策の骨子案』のとりまとめ
- R8.2月 対策パッケージのとりまとめ・公表

■人材確保・活躍の富山モデル



第21回若年者ものづくり競技大会の開催について

若年者の技能競技の全国大会である「若年者ものづくり競技大会」が、令和8年夏に富山県で初めて開催されます。

概要

対象：工業高校等で技能を習得中の原則20歳以下で就職していない若者

主催：厚生労働省・中央職業能力開発協会

日程：令和8年8月1日（土）～2日（日）

メイン会場：富山テクノホール・高岡テクノドーム

富山県では、

- ・開催広報への協力
- ・県職業能力開発協会等関係機関と連携し
「ものづくりの魅力」を発信する併催イベントを実施

大会規模

職種数：15職種

（機械製図(CAD)、旋盤、木材加工など）

参加選手：約350人

来場者総数：約7,800人

ライブ配信数：約22,700人

※参加者数 来場者総数 ライブ配信数はいずれもR6実績

「ものづくり県とやま」の魅力を県内外に発信

「富山県経済の好循環加速化パッケージ」の展開

- 物価高、深刻な人手不足など中小・小規模事業者が直面する厳しい事業環境を乗り越えるため、**生産性向上**を起点に、**持続的な賃上げ**を実現し、**企業の「稼ぐ力」**を高め、**経済の好循環を加速**させることが重要。
- その実現に向け、「富山県経済の好循環加速化パッケージ」（第一弾・第二弾の合計：68.8億円）を展開し、**国と県の施策を有機的に連携**させ、その効果を**最大限引き出す**ことで、**県内全体への波及を加速**させていきます。

生産性向上

●構造転換・付加価値向上

第1弾

- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」
- ・専門家派遣による経営力強化集中支援

第2弾

- ・中小企業トランスフォーメーション補助
- ・とやま人材リスクリング補助

●価格転嫁の推進

第1弾

- ・価格転嫁サポート補助

持続的な賃上げ

●賃上げ環境の整備

第1弾

- ・賃上げ応援
- ・融資制度「生産性向上・賃上げ支援枠」（再掲）

第2弾

- ・富山県賃上げサポート補助
- ・富山県キャリアアップ奨励
- ・医療・介護・障害福祉施設の賃上げ支援

物価高対応・消費喚起

●物価高対策

第2弾

- ・原料米価格高騰対策緊急支援
- ・融資制度「米価高騰対策枠」
- ・医療・介護・保育・障害福祉施設、学校施設、農林水産業、指定管理施設への支援

●エネルギー価格高騰対策

第2弾

- ・特別高圧、LPガスの負担軽減

●消費喚起

第2弾

- ・プレミアム商品券の発行による生活支援・消費喚起

戦略的な 広報発信

- ・関係機関・商工団体等のネットワークをフル活用したPRを展開
- ・県HPに「富山県経済の好循環パッケージ特設ページ」を新設し、関係情報の随時更新・発信